

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">図書館とコミュニティ</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">人間人社2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">塩見 昇</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">地域情報拠点としての公立図書館</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>人々の暮らしのなかで、公立図書館のもつ役割、活かし方を「地域における情報拠点」という面で捉え、その意義、日本における進展のあと、現況、当面する課題とこれからのあり方、などについて考察する。演習的なやり方で参加型の授業をめざす。</p>		
<p>評価方法</p> <p>普段の授業への出席、授業の中での発表や討論への参加、および最終レポートを合わせて総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>授業のなかで指示する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>授業のなかで紹介する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 この科目のオリエンテーション 科目の概要、授業の進め方、授業への参加について、など 2 現代の公立図書館の概況と課題 その1 3 その2 4 その3 5 「地域情報拠点」という把握をめぐって その1 6 その2 文部科学省の二つの報告書 7 その3 8 地域情報拠点としての公立図書館 その1 活動内容 9 その2 連携・協力によるサービスの拡大 10 フィールドワーク その1 11 その2 12 その3 13 発表・討論 14 発表・討論 15 まとめ 		